

# 農業、食品産業へ応用

## メタボローム解析 研究者らがシンポ

口一ム解析との相関関係に質問があり、人間の嗜好に対する成分を細密に測定する最新技術がどの程度まで迫っているのか関心を集めていた。

農業や食品産業分野へのメタボローム解析技術の活用について、関係する国内の研究者が一堂に集まり可能性や課題を発表する「アグリメタボロームシンポジウム」が29日、鶴岡市の東北公益文科大学院ホールで開かれた。

県農業総合研究センターと庄内地域産業振興センターエキスperimentum(寒河江市)海道農業研究センター研究員の岡崎主毅さんが

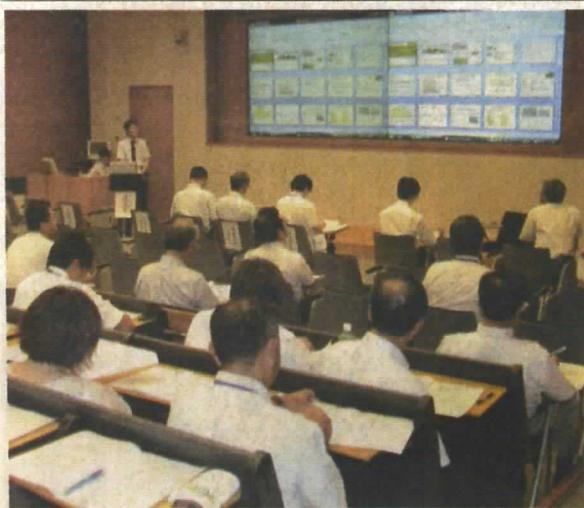
「作物栽培におけるメタボローム解析技術の応用」、大阪大大学院工学

研究科の福崎英一郎教授(生命先端工学専攻)が

「メタボリックプロファイリングの精密表現型解析への応用」のテーマでそれ基調講演。引き

基調講演の後の講演者と参加者の質疑では、食品の官能試験とメタボ

ローム解析との相関関係に質問があり、人間の嗜好に対する成分を細密に測定する最新技術がどの程度まで迫っているのか関心を集めていた。



県農業総合研究センター植物科学研究所植物研究センター主任講師の及川彰さん、県農業総合研究センター水田農業試

農業や食品分野へのメタボローム解析技術の応用を探ったシンポジウム

農業や食品産業分野へのメタボローム解析技術の応用